

○卒業までに学生が身につけるべき資質・能力

卒業生の特性（期待する卒業生像）

教育目標	卒業生の特性（期待する卒業生像）
1. 看護の専門職としての責務を自覚し、対象の立場に立った倫理に基づく看護を実践する基礎的能力を身につける。	1) 人間の多様な価値観を認識する。 2) 看護の対象を一個人として尊重し、受容的・共感的態度で接する。 3) 倫理に基づき人間の生命・尊厳を尊重し、人権を擁護する。 4) 看護の専門職として自覚と責任を持つ。
2. 看護の対象である人間を身体的・心理的・社会的・文化的側面をもつ生活者としてとらえ総合的に理解する能力を身につける。	1) 人間を身体的・心理的・社会的・文化的側面をもつ存在として理解する。 2) 看護の対象である生活者を連続性のある存在として総合的に理解する。
3. 臨床判断に必要な基礎的能力を身につけ、看護を科学的根拠に基づいて実践する能力を身につける。	1) 看護実践に必要な臨床判断能力、応用能力、問題解決能力身につける。 2) 科学的根拠に基づいた看護を実践する。 3) 健康の保持・増進・疾病の予防及び健康の回復に関わる看護を健康の状態やその変化に応じて実践する。
4. 保健・医療・福祉システムおよび他職種の役割を理解し、チーム医療を実践するための基礎的能力を身につける。	1) 保健・医療・福祉システムを理解する。 2) 保健・医療・福祉チームにおける看護師及び他職種の役割を理解する。 3) 対象者を含むチームメンバーと協働して看護を実践する。
5. 主体的に学習・研鑽し続け、看護の質の向上を追求するための基礎的能力を身につける。	1) 看護の対象に関心を寄せ看護の質の向上を追求する姿勢を身につける。 2) 主体的に学習・研鑽し続ける。
6. 看護の専門職として地域で担う役割を理解し、地域に貢献できる資質を養う。	1) 地域の特性をふまえた看護を実践する。 2) 加賀看護学校が地域で担う役割を理解し地域に貢献する。